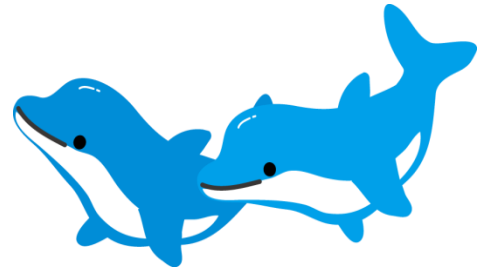


腹部超音波検査のご案内

◆ どんな検査？

- ◆ 超音波は人間の耳には聞こえない高い周波数の音波です。たとえば自然界では、イルカは交通手段として利用したり、コウモリは自分の位置を確認する手段として超音波を利用していることが知られています。こうした音波を腹部に発信し、様々な臓器から返ってくる音波を受信して画像化します。



◆ 検査方法

- ◆ 検査用のゼリーを腹部全体に塗りながら、小さな機械（超音波プローブ）を当てて観察します。
- ◆ 検査中は、観察部位によって、検査担当者の声に合わせて息を吸ったり吐いたりしていただきます。

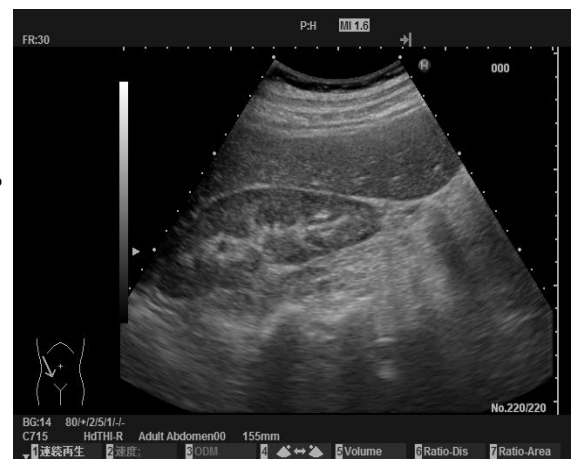


◆ 検査の内容

- ◆ 肝臓、胆嚢、腎臓、膵臓、脾臓などを対象に観察していきます。大きさ形、血流などの情報を得ることができます。

◆ 検査前の注意事項

- ◆ 検査前は食事をとらないでください。
- ◆ 食事をしてしまった場合は、検査担当者に伝えてください。
- ◆ 下腹部を観察する場合は、検査前に排尿せず、膀胱に尿を貯めていただく場合があります。



腹部超音波検査のQ&A



Q.

超音波検査は痛くないですか。
また、体に悪い影響はないですか。

超音波自体の痛みはありません。超音波発信機（プローブ）を、体に押し当てて検査をしますのでその時、人によっては押さえる痛みを感じる程度です。超音波は人体に影響がないため、いろいろな分野で活用されています。



A.



Q.

腹部超音波検査の前に食事をしてはいけないのはなぜですか。

絶食が必要な理由は、食事によってお腹にガスが増えたり、胆汁を腸に排出してしまい胆嚢が小さくなり、見えにくくなってしまうためです。

しかし、少量のお水を飲むのはかまいません。お薬については担当医の指示があれば飲んでかまいません。



A.

?



Q.

超音波検査が見やすい、見えづらいなどの個人差はあるのですか。

多少はあります。

消化器のガスが多かったり、高度の肥満の場合や肋間が狭い、肺がかぶる場合などは超音波が減衰してしまい観察しにくい事があります。

しかし、この差が軽減されるように色々な工夫してより良い検査が出来るように努力しています。



A.